

平成 21 年度 北海道産業貢献賞（住宅都市功労者）を受賞

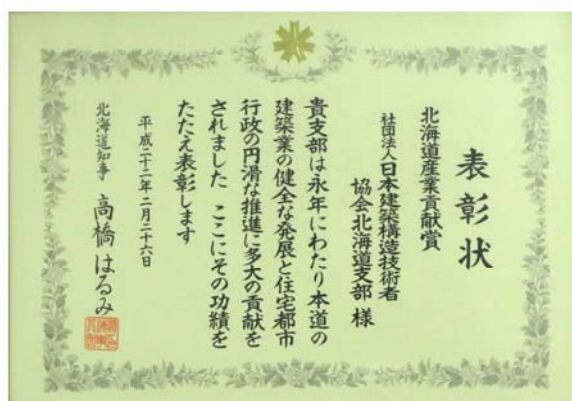
平成 22 年 3 月 16 日、石狩支庁支庁長室において、平成 21 年度 北海道産業貢献賞（住宅都市功労者）表彰伝達式が行われ、支部を代表して二瓶支部長、羽沢支部顧問、福本事務局長、林広報企画委員が出席してまいりました。

建築構造の専門技術を通じて社会貢献することを目的に活動してきたことが認められ、平成 21 年度 北海道産業貢献賞（住宅都市功労者）を頂きました。

特に平成 7 年の阪神淡路大震災以降においては、旧耐震建物の耐震診断・補強に関する審査の中心的な役割を果たしてきたこと、平成 17 年に発覚した耐震偽装事件では、一般市民向けの相談窓口を開設するなど不安を取り除く活動が評価されました。

さらに平成 19 年 6 月の基準法改正に伴う建築確認の円滑化や構造適合判定への協力、新資格者確保への積極的な取り組みなど、近年における建築行政への貢献が認められました。

内田幹秀石狩支庁長より賞状を送られる二瓶支部長



写真：【北海道建設新聞社提供】

二瓶支部長からは、『今回の表彰につきましては、支部設立以来、長年に渡りその活動に、ご理解、ご指導、ご支援をいただきました支部先輩諸氏、会員ならびにその活動を支えてくださいました事務局、皆様の弛まぬ努力の現れであると認識しております。また、本受賞におきましてご推薦を賜りました、

社団法人 北海道建築士事務所協会 様

社団法人 北海道建築士会 様 には、この場をおかりしまして深く感謝申し上げます。今後もこのご推薦の意、また受賞の重さに劣ることなく、当支部会員は、構造専門技術者としての「職能の向上」に積極的に取り組みますと共に、自己の「職能倫理の確立」を成し、ここ私たちが住む北海道における「良質で安全、安心な建築の提供」をめざし活動を進めていく決心しております。措辞ではありませんが 受賞のお礼の言葉とさせていただきます。』と、受賞の喜びと今後の活動を込めた受賞の挨拶がありました。

表彰伝達式のあと、内田幹秀石狩支庁長と出席者を交えて、最近の建築業界についての懇談会が行われました。